

単元計画（保健）

単元名		安全な社会生活（単元：応急手当）	学年	入学年次の次の年次		
単元の目標		知識及び技能	応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法について、理解することができるようにする。			
		思考力、判断力、表現力等	応急手当に関わる事象や情報から課題を発見し、自他の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。			
		学びに向かう力、人間力等	応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法についての学習に主体的に取り組もうとすることのできるようにする。			
		主な学習内容・学習活動	評価の観点			評価方法
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
時数	1	<応急手当の意義とその基本> 1. 応急手当の意義について知る。 2. 応急手当の手順や方法について説明を聞く。 3. ノートに説明を板書し、まとめる。	①		①	(学習活動3) 観察 ノート
	2	<日常的な応急手当> 1. 日常的なけがの応急手当の手順や方法を知る。 2. 熱中症の応急手当について説明を聞く。 3. ノートに説明を板書し、まとめる。	②	①		(学習活動3) 観察 ノート
	3	<心肺蘇生法①> 1. 心肺蘇生法の方法と手順について知る。 2. AEDについて説明を聞く。 3. ノートに説明を板書し、まとめる。	③			(学習活動3) 観察 ノート
	4	<心肺蘇生法②> 1. グループでワークシートを作成する。 2. グループで作成した内容を発表する。 3. 適切な心肺蘇生法について説明を聞く。		②		(学習活動1・2) 観察 ワークシート
単元の評価規準	知識・技能	①適切な応急手当は、傷害の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて理解したことを言ったり書いたりしている。 ②日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、応急手当ができる。 ③心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であることを理解したことについて、言ったり書いたりしているとともに、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。				
	思考・判断・表現	①日常的な応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に应用している。 ②応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。				
	主体的に学習に取り組む態度	①応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				